

「サイバーセキュリティシンポジウム道後2024」を開催

- 総務省四国総合通信局は、サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会（委員長：小林真也 愛媛大学大学院教授）と協働し、令和6年3月8日(金)・9日(土)の2日間、「サイバーセキュリティシンポジウム道後（通称：SEC道後）2024」を開催しました。
- 地域住民が安全に安心して暮らせるサイバー空間の確保と、地域でのセキュリティ対策の強化につなげるため、「サイバー攻撃に負けない地域づくり ～新たな脅威に備えた連携と共助～」をテーマに、産学官の多彩な登壇者による講演・パネルディスカッションのほか、参加者同士の交流の場であるナイトセッションや意見交換会を実施しました。

【目的・経緯等】

サイバー空間における情報セキュリティの重要性について広く普及・啓発を図るとともに、地域におけるサイバーセキュリティ人材の育成を目的に、平成24年から愛媛県松山市において開催しており、毎年全国からセキュリティの専門家や関心の高い方々が集まります。

13回目となる今回は、愛媛大学 城北キャンパスで開催し、のべ約1,000名(2日間：現地・オンライン)を超える方々にご参加いただきました。

【プログラム】

総務省サイバーセキュリティ統括官の基調講演をはじめ、サイバーセキュリティ分野の第一線で活躍されている専門家・企業の方々による講演や、インシデント被害を最小に抑えるための組織の対応等について考えるパネルディスカッションのほか、参加者同士の連携と交流を深める意見交換会やナイトセッションを実施しました。

ナイトセッションでは、昨今関心の高いテーマ（四国4県警のサイバーセキュリティに係る課題と対策／クラウドサービスのサイバー攻撃における関係者間の法的責任／医療機関のセキュリティ対策など）を取り上げ、熱心な議論が行われました。

また、シンポジウムの模様は、四国内6箇所のサテライト会場（鳴門教育大学、香川大学、香川高等専門学校、愛媛大学、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校）において学生・教職員を対象にオンライン配信し、のべ72名が視聴しました。

【主催】サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会

【共催】愛媛大学、愛媛県、松山市、総務省四国総合通信局、四国サイバーセキュリティネットワーク（ほか）

【後援・協力】経済団体、セキュリティ関連団体、テレコム関連団体、教育機関、研究機関等 約20企業・団体

【開催場所】愛媛県松山市（愛媛大学 城北キャンパスにおいて、ハイブリッド形式で開催）



＜講演会場の様子＞



＜パネルディスカッション＞



＜ナイトセッション総括＞



＜協賛社 展示ブースの様子＞



参加者の声（アンケートより）

- ・「サイバー攻撃に負けない地域づくり」というテーマらしく、人材に関する目からうろこの話が多くて勉強になった。
- ・毎回参加するたびに最新の情報を入手でき、新しい発見を得ることができる。有意義なプログラムの企画に感謝。
- ・権威ある方達の講演を聞き、交流することで、スキルの向上だけでなく、今後のモチベーションも上がった。
- ・ナイトセッションでは活発な議論、双方向のディスカッションが行われておりとても良かった。

【お問い合わせ先】四国総合通信局 サイバーセキュリティ室 089-936-5044